

明けましておめでとうございます

今年は巳年に因み、新たな良い事が多く生まれることを願っています。

昨年、日本と米国では今後の社会、経済の行方を左右する大きな選挙が行われました。誰もがより良い社会になる事を望んでいますが、世の中にはなかなか解決できない多くの課題があります。

世界食糧計画などの発表によると、2023年の世界の飢餓人口は7億5700万人で3年連続の高止まりとなり、世界の11人に1人、アフリカでは5人に1人が飢餓に直面しています。

紛争や気候変動が主な原因ですが、2030年までに飢餓を撲滅するとしたSDGs（持続可能な開発目標）の目標達成にはほど遠い状況です。私たちはこれらのことに関心を持ち続けなければならないと思います。

FAMICは、安心して農林水産業を営める社会、安心して食品を選び楽しめる社会をめざし様々な課題に取り組んでいます。

これはSDGsが目指す持続可能な食料生産に向けた取り組みでもあります。

品質が確かで安全な肥料、農薬、飼料は安定した食料生産に不可欠です。そして、お店で手にする食品などはあたりまえに品質、安全性が約束されていなければなりません。

FAMICは食品、肥料、農薬、飼料などの品質や安全性を守るため、科学的検査・分析の技術力向上と皆様への情報の提供に引き続き努めてまいります。

皆様のご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

FAMIC（ファミック）

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

理事長 **木内 岳志**

